

## 第30回 D-Wind Rally 『三国峠と清水越え』 問題の答え

距離(km)		問題		正解率
スタート～1CP	13.22	問題A	3往復	43%
1CP～2CP	3.44	問題B	高い	86%
2CP～3CP	7.68	問題C	地図の向きが違う	86%
3CP～4CP	2.31	問題D	苗場山	100%
4CP～5CP	7.21	問題E	42	100%
5CP～6CP	12.14	問題F	佐藤博道、田村守弘	100%
6CP～7CP	11.86	問題G	あちや	29%
7CP～8CP	21.08	問題H	13. 2km/h	57%
8CP～9CP	4.01	問題I	①伊能忠敬	100%
9CP～ゴール	4.80	問題J	34倍	86%
	87.75	問題K	桜の鞭	100%
		問題L	1つ少ない	57%
		問題M	1. 5倍	86%
OD	6.555	問題N	エボシ岩	100%
		問題O	5. 0km	100%
		問題X-1	①:c ②:a ③:b ④:d	100%
		問題X-2	7図	86%
		問題X-3	オーロラの詩	100%
		問題X-4	4CP	100%
		問題X-5	マンホール	100%

	<b>【解説】 コース</b>
	群馬と新潟との県境で、三国街道の難所であった三国峠と、上越線の難所であった清水トンネル、廃道になった清水越え。3つのポイントを3つの切り口(車、徒歩、電車)で楽しんでもらう設定でした。流石皆さん車好き(鉄道もかな?)! でも歩くの嫌い!(笑) この歩きの設定がガンとなったのか、7組という寂しい参加者数になってしまいました。参加して頂いた方々、本当に良く歩いて下さいましたm(~)m 国道17号中心のレイアウトでしたが、旧道なども入れましたのでドライブのコースとしても楽しんで頂けたのではないのでしょうか?
	<b>【解説】 距離</b>
	今回は、皆さん減点が多いです。これは3図の工事の影響でODまでの距離が若干ずれたのと、国道17号や17～18図間のように道幅が広くてコーナが多い道で、ライン取りに皆さんの個性が出たのでは無いでしょうか? 私の走り方がいつもと違っていただけの事は無いと思うのですが…。
	<b>【解説】 クイズ</b> いつもよりアツサリ目だったと思います。実はあまりクイズにする様なネタがなく、皆さんを歩かせるための設定になってしまったかも…。また、今回も(?), 曖昧な問題文で答えが特定できないような問題もあった様で、申し訳ないです。
A	何も無い駅前で、この看板しかクイズに出来そうなものはありませんでした。最初は土樽と土合間の所用時間を答えてもらうつもりだったのですが、折角鉄道の駅を回ってもらうので、時刻表と引っ掛けた問題にしました。土樽と土合の間は、茂倉新道を通るか、逢峠から白樺小屋を通るか5分ほど所要時間が違っていました。5分では答えに影響は無かった様です。後者のルートで所用時間は535分でした。 土樽⇒土合 ⇒土樽 ⇒土合 ⇒土樽 ⇒土合 ⇒土樽 12:15⇒12:25/13:48⇒13:58/15:22⇒15:32/17:53⇒18:03/18:11⇒18:21/20:39⇒20:54 で、3往復出来る事になります。 土樽6:41発だと2往復、8:24発だと2. 5往復しか出来ませんでした。
B	スママセン! 木柱では無かった様ですね…(^_^;; 木柱じゃないから、高くも低くもない! という答えを求めるほど素直じゃない作成者ではありませんので! 念のため(笑) 162. 5cmほどありましたね。
C	パッと見で判るのが、地図の上下が逆と言う事でした。案内板ですから見る人が見やすくするためには、道に対してどちら向きに看板があるかで、上下が決まってしまうですね。地図のように必ず上が北とは限らないですね。

D	問題文が曖昧でしたm(^~)m あのパノラマ模型の正面に立って見た時、他の場所は全て自分の方を向いているのに、『苗場山』だけが反対を向いていました。上から覗き込まないと見えなかったのですが、問題にしたのですが…。皆さんにとって不親切な場所だったと言う事で全員正解にしました。ちなみに、『駒子の湯』が3名、『現在地』が2名おられました。
E	『二』が10個、『三』が6個、『四』が1個ありました。これも問題文の説明が不足でしたね。私としては、『一』『二』…の様に加えられる漢数字のみを考えていたのですが、『京』、『分』、『厘』なども漢数字ですね。今回の案内図にあった『清』も漢数字で、『10の-22乗』だそうです。勉強になります…(^.^;; 皆さん常識の範囲で答えて頂いて全員正解で良かったです。
F	峠の上までご苦労さまでしたm(^~)m 鳥居に書かれていましたね。
G	OQM-17に引っ掛けての問題でした。『ここは へい あちや と だんべ の 国 さかい』と書かれていました。答えは『あちや』ですが、『へいあちや』と答えられた方が何人かいらっしゃいました。この『へい』は『ここはよー』と同様な使い方、『ここはへい(えー)』という民謡なんかに出てきそうな言い回しですね。ただ、OQM-17の『ずら』や『だんべ』は、『そうずら』や『そうだんべ』のように使い、実際耳にするのですが、『あちや』はどのように使うのか、どのような意味なのか判りませんでした。某PDccQR優勝者にもお聞きしたのですが…。どなたかご存じでしょうか？
H	問題Aと同じく、所用時間を案内板から読みとってもらうクイズでした。ポイントは、車で6CPに向かうB君も、三国峠のこの場所から5CPまで歩かなくては行けないと言う点です。上手く嵌って頂いた方が…。三国峠から法師温泉に向かう道が二通りあって、旧三国街道を歩いた時間で答えられた方もいらっしゃいました。問題文が不足だったのでしょうか？ 5CP~6CPの距離は、12.14km。歩くA君は6CPまで75分かかります。車のB君は5CPに戻るまでに20分かかりますので、12.14kmを55分で走れば良い事になります。
I	一応、予習問題でした。問題Iまで行って気が付かれて、もう一度三国峠に登った方はいらっしゃらないですよ？(笑)
J	答えが問題の写真の看板に無くて探されたのでしょうか？ ダム側の柵にあった『水利使用標識』にありました。間違えられた方は、柵を間違えられたようです。
K	特に問題無かったですね。説明板そのままの答えでした。
L	これも問題文の説明が不足だったのでしょうか？ 写真の様な形の避難所が両方の駅にあったので、簡単だと思ったのですが。1つだけ形が違ってフェンスが張ってあった所がありました。勿論これは含みません。土合駅が『11』、湯楡曾駅が『10』でした。
M	新清水トンネル内の枕木は『23514本』、清水トンネル内は『15705本』でした。
N	特徴ある形で、天気が悪くて見えなくてもCP近くにあった案内板で確認できたと思います。皆さん実際に一の倉沢を眺められたのでしょうか？ クライマックスにこの風景を見てもらいたがためのコースでしたから。
O	『何でゴールしてからも歩かなあかんねん！？』って思われた方も多かったでしょうね。廃道になった清水越え=旧国道を味わってもらいたかったのです。実は『国道』と書かれた標識が残っているのですが、それを紹介するのを忘れていました。問題Oからも少し歩いた所にある筈なんです。
X-1	単純に出て来る順番を答えてもらっても良かったのですが、各本陣跡にまつわる説明文を読んで欲しくてこのような形式の問題にしました。少しは旧三国街道を旅する感じがうかがえたでしょうか？
X-2	7図左手の東京電力の施設にありました。7図で一旦停止をして少し振り返る位置にあったので判りにくかったのでしょうか？ でも同じタッチの別の花の絵が、手前から見えたのでヒントになったのでは？
X-3	最初の試走の時は、夕暮れ近くで気が付きませんでした。道が狭くなる手前の斜め左前にあったので見落とされるかな？と思いましたが、流石に皆さん正解でした。
X-4	クイズの写真は、回転させていたので判りづらいなと思いましたが、問題Eを解いていたら嫌でも目に入ってきたでしょうね。
X-5	似たような問題が過去のPDQMが何かであった様な覚えがあるのですが、何だったか覚えていません。3つくらい続けて出てきましたから見落とす事は無かったですね。